

平成 19 年度基礎調査の結果

本市が平成 19 年度に実施した調査について、その結果の一部を紹介します。

◇地形と周辺環境

八瀬川は整備対象区間が延長5kmながら、上流部の田園地帯、中流部の両側が切り立った渓谷のような場所、下流部の斜面緑地沿いを流れる場所など多様な地形と周辺環境を有しています。八瀬川流域は斜面林や湧水など自然が多く残っていますが、昔と比べると工業用地や住宅地などが増えてきています。



▲ 中流部の渓谷地帯



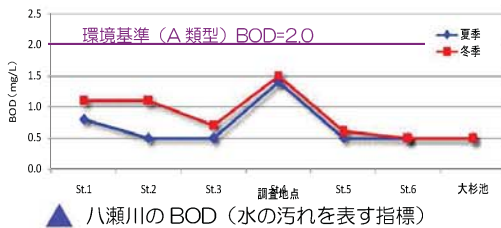
▲ ハイタカ

◇住んでいる生き物

八瀬川は良好な自然環境が保全されていることから、多くの生き物が生息している川です。国や県の絶滅危惧種等に指定されている、ホトケドジョウやメダカ、ハイタカ、カヤネズミ、イタチ、また、陸生昆虫ではオオルリボシヤンマやミヤマアカネなどが確認されています。

◇水質

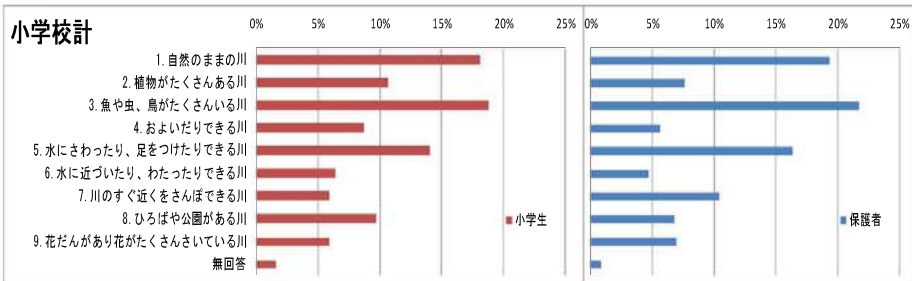
八瀬川では、環境基準 A 類型という、最もきれいな（きびしい）水質の目標が設定されています。平成 19 年度の水質調査結果では、全体的に水質は良好で、大腸菌群数という項目を除いて環境基準 A 類型を満足していることがわかりました。



◇地域の人たちは八瀬川をどう思っているの？

八瀬川流域の夢の丘小、麻溝小、田名小の3つの小学校を対象に、子供たちや保護者、学校の先生にアンケート調査を実施しました。八瀬川がどんな川になったらいいと思うかとの質問に、小学生・保護者ともに、多くの人が、魚や虫などが生息する自然のままの川や、水に触ったりできる川になったらいいと回答しています。

▼「どんな川になったらいいと思いますか」に対する回答



お問い合わせ先

相模原市都市建設局土木部河川整備課 (担当：山口)

〒229-8611 相模原市中央 2-11-15

TEL : 042-769-8273 FAX : 042-769-5822

第1回八瀬川ワークショップ

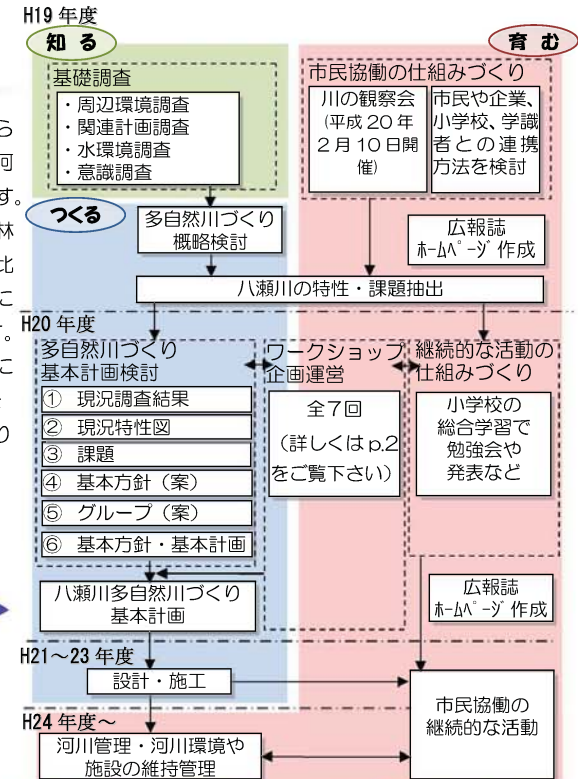
5月31日(土)に開催しました!



1. 八瀬川多自然川づくり基本計画とは

八瀬川は、田名に端を發し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する延長約5kmの中小河川です。流域には閑静な住宅地や水田、段丘斜面の樹林帯があり、段丘崖からの湧水が流入し、水量も比較的豊富で、本市の都市部における住民や生物にとって貴重な水辺空間を創出している河川です。本市では、良好な自然と水質を保全し、全川にわたって一貫した方針をもつ多自然川づくりを目指し、平成20年度に「八瀬川多自然川づくり基本計画」の策定を計画しています。

八瀬川多自然川づくり事業フロー



▼ 準用河川八瀬川基本計画の対象区間



2. 八瀬川ワークショップの概要

◇開催の目的

皆さんの意見を伺いながら、貴重な自然を生かすつ、地域の暮らしや歴史・文化に調和した「八瀬川多自然川づくり基本計画」のワークショップ案を策定することが目的です。

◇八瀬川多自然川づくり基本計画への反映

八瀬川は、昭和56年、63年に準用河川改修事業全体設計が承認されています。八瀬川多自然川づくりワークショップでは、この全体設計に則った計画諸元を基に多自然川づくりを行います。

ワークショップで作成した案は、治水・利水・環境・経済性等の条件を考慮しながら、八瀬川多自然川づくり基本計画に反映させていきます。

◇ワークショップとは？

ワークショップは、参加者が様々な意見やアイデアを出し合いながら物事を創りあげていき、方向性を打ち出したり、合意を図ったりする場です。参加しているすべての人が気持ちよく発言できる雰囲気をつくり、楽しく実りあるワークショップを目指します。

ワークショップのスケジュール

回	日程	内容
第1回 終了	5/31	H19年度基礎調査結果の報告 八瀬川の現況イメージの作成
第2回	6/15	八瀬川現地調査 現況特性カルテの作成
第3回	7/26	道保川等他河川見学 他河川カルテの作成
第4回	9月 予定	整備方針の作成
第5回	10月 予定	整備計画案（グループ案）の作成
第6回	11月 予定	整備計画案を各グループ案から ワークショップ案へ集約
第7回	1月 予定	ワークショップ案の決定 河川活動案の決定

◇ワークショップの内容

事務局から八瀬川多自然川づくり事業やワークショップの方法、現在の八瀬川流域の調査結果などについて説明しました。その後メンバーは5つの班に分かれ、八瀬川の「良いところ」「良くないところ」をテーマに意見交換を行い、最後に各班の代表者が全員の前で発表しました。

◇主な意見

各班では、次のような意見が出ました。

○良いところ

「湧水が多い」「水が澄んでいる」「ホタルがたくさん生息している」「河口部分には魚が多い」「素晴らしい渓谷が残っている」など

×良くないところ

「ゴミが捨てられている」「汚水が流れ込んでいる」「フェンスや段差があり川に近づけない」「昔は子供の遊び場だったが今は汚れている」「護岸が3面コンクリート張りのため川らしくない」など

3. 第1回ワークショップの報告

第1回ワークショップの概要

日時と場所

5/31（土）14時～ 塩田自治会館

参加者

ワークショップメンバー：市民 36名
主催者：相模原市河川整備課職員
オブザーバー：麻布大学岡本教授、学生 4名
スタッフ：コンサルタント（日本技術開発株式会社）

当日のスケジュール

- 14:00- | 挨拶
- 14:05- | 八瀬川多自然川づくり事業について
- 14:10- | 自己紹介
- 14:40- | ワークショップについて
- 14:50- | 多自然川づくりについて
- 15:00- | 八瀬川流域の現況
- 15:40- | 休憩
- 15:45- | 意見交換・発表
- 16:20- | 第2回ワークショップの説明

当日の様子

○八瀬川多自然川づくり事業や調査結果の説明
事務局が多自然川づくり事業や、平成19年度の八瀬川基礎調査の結果を説明しました。
→基礎調査の結果についてはp.4をご覧ください



○自己紹介
市民の方々が八瀬川への思いを交えながら、自己紹介をしました。



4班の意見をまとめた地図



○意見交換・発表
参加メンバーが5つの班に分かれ、その中で八瀬川の良いところや良くないところについて、それぞれが思うことを話し合い、最後にみんなの前で発表しました。



1班
湧水が多くて楽しい



2班
昭和20年代は子供の遊び場だった



3班
上流の暗渠部分がもったいない

4班
下流にゴミが不法投棄されている



5班
水辺の竹やぶを間伐して明るくしたい

6班
自然な蛇行が少ない



2班の発表